

第1章 高岡市の概要

第1節 市域の位置

本市は、富山県の北西部に位置し、面積は、209.57km²である。

北は、氷見市に接し、東は射水市、北西は石川県宝達志水町・津幡町、南西は小矢部市、南は砺波市に接している。市内の西側は山間地域で二上山とこれに連なる西山丘陵があり、東側は庄川・小矢部川によって形成された平坦な平野部からなっている。小矢部川右岸は、庄川の扇状地の末部にあたり、良質の地下水が自噴している。また、市域の北東側は富山湾に面している。

気候は、いわゆる日本海型に属しており、比較的温暖で、年間を通じて降水量も多く多湿であるが、四季の変化に富む豊かな自然に恵まれている。

第2節 沿革

本市の歴史は極めて古く、有史以前から先人が生活を営んでいたことは、石器時代の遺物、縄文・弥生時代の遺跡から何うことができ、二上山山麓を取り巻く古墳群の存在から、越中文化の発祥の地であると考えられる。

また、奈良時代の天平18年（西暦746年）、大伴家持が国守として越中国府（現在の伏木）に着任し、数多くの秀歌を万葉集に残している。

さらに、江戸時代の慶長14年（西暦1609年）、加賀藩2代藩主前田利長公が現在の高岡古城公園に城を築き、地名を詩経の「鳳凰鳴けり彼の高き岡に」から高岡と名付け、市形態の礎を築いた。

高岡には、利長公による開町以来の高岡銅器、高岡漆器、全国シェアの約9割を占める越中福岡の菅笠などの「ものづくりの技」が脈々と息づいている。

明治22年（西暦1889年）わが国に初の市政が施行され、全国31市の一つとして高岡市が誕生し、その後、周辺町村との合併を行い、平成17年11月1日市1町が合併し新高岡市が誕生した。

市域の変遷

	年 月 日	合併市町村等	増加面積 (km ²)	総面積 (km ²)	人口 (人)
旧 高 岡 市	明治 22. 4. 1	市制施行	—	2.04	29,202
	大正 6. 5. 15	掛開発村、佐野村の一部	2.20	4.24	36,648
	14. 8. 1	下関村	4.02	8.26	39,932

	年 月 日	合併市町村等	増加面積 (km ²)	総面積 (km ²)	人口 (人)
旧 高 岡 市	昭和 3. 6. 1	横田村、西条村	8. 04	16. 30	48, 894
	7. 10. 1	佐野村の一部（清水地区）	0. 40	16. 70	52, 243
	8. 8. 1	二上村	6. 37	23. 07	54, 672
	17. 4. 1	伏木町、能町村、守山村、野村、 佐野村、二塚村	41. 55	64. 62	87, 908
	17. 10. 1	新湊町	9. 38	74. 00	113, 937
	24. 1. 1	福田村	3. 36	77. 36	138, 988
	26. 1. 1	新湊町、牧野村分離	△9. 32	68. 04	109, 759
	26. 3. 17	国吉村	14. 51	82. 55	113, 555
	26. 4. 4	牧野村	4. 80	87. 35	115, 770
	26. 10. 5	太田村、石堤村、東五位村	25. 89	113. 24	122, 773
	29. 4. 1	小勢村	3. 19	116. 43	124, 165
	30. 4. 1	立野村	3. 72	120. 15	126, 549
	35. 10. 1	国勢調査時、国土地理院の修正 により減少	△0. 47	119, 68	135, 190
	34. 11. 2	伏木玉川および伏木伏浦地先 公有水面埋立地	0. 12	119. 80	139, 988
	40. 10. 1	国勢調査時、国土地理院の修正 により減少	0. 01	119. 81	140, 581
	41. 2. 10	戸出町、中田町	31. 24	151. 05	155, 108
	63. 10. 1	国土地理院の修正により減少	△0. 67	150. 38	177, 588
	平成 9. 5. 7	公有水面埋立地（伏木磯町及び 伏木湊町）	0. 17	150. 55	175, 364
	9. 7. 14	公有水面埋立地（伏木万葉ふ 頭）	—	150. 55	175, 428
	15. 8. 20	公有水面埋立地（太田辰ノ口）	0. 01	150. 56	171, 261
	17. 7. 8	公有水面埋立地（伏木万葉ふ 頭）	0. 05	150. 61	169, 514

	年 月 日	合併市町村等		総面積 (km ²)	人口 (人)
旧 福岡町	昭和 15. 2. 11	新設合併	福岡町、大滝村、山王村	11. 52	4, 874
	29. 8. 1	新設合併	福岡町、西五位村、五位山村	49. 65	10, 379
	29. 9. 15	編 入	赤丸村	58. 23	11, 896
高岡市	平成 17. 11. 1	新設合併	高岡市、福岡町	209. 37	183, 077
	18. 4. 7		公有水面埋立地(伏木万葉ふ頭)	209. 38	182, 214
	21. 6. 18		公有水面埋立地(伏木万葉ふ頭)	209. 42	178, 704
	26. 6. 27		公有水面埋立地(伏木万葉ふ頭)	209. 47	176, 127
	26. 10. 1		国土地理院による面積の計測手法の変更による	209. 57	175, 957

第3節 市勢

本市の人口は、約 17 万人で、富山県（人口約 105 万人）内で富山市に次ぐ第 2 の都市である。

産業では、江戸時代から培われた優れた技術は、銅器、漆器、仏壇、薬業などの伝統産業として今日も連綿と続き、昭和 50 年（西暦 1975 年）には高岡銅器と高岡漆器が、平成 29 年（西暦 2017 年）には越中福岡の菅笠が、伝統的工芸品として国の指定を受け、美術工芸品として愛用されるとともに、日常消費生活の用途に広く用いられている。

さらに、大正年代（ 1910 年代 ）から豊富な電力、工業用水、良好な港湾などの立地条件を生かし、繊維、紙、パルプ、化学、金属製品などの近代産業が発展し、戦後は、アルミ製品、プラスチック製品、医薬品製造業などが急伸び、日本海沿岸有数の工業集積を有する商業都市として発展している。

また、平成 27 年 3 月 14 日には北陸新幹線が開業し、高岡市は未来に向けた新たなステージを迎えた。

1 人口（住民基本台帳ベース）

(1) 人口、世帯数の推移

（各年 12 月 31 日現在）

区分 年次	世帯数	人口			一世帯あたり人口
		総 数	男	女	
平成 27 年	67, 105	174, 876	84, 431	90, 445	2. 61
28	67, 819	174, 252	84, 273	89, 979	2. 57
29	68, 355	173, 174	83, 857	89, 317	2. 53
30	68, 611	171, 958	83, 298	88, 660	2. 51
令和元年	68, 933	170, 470	82, 641	87, 829	2. 47

（資料：市民課）

(2) 人口動態

(各年 12 月 31 日現在)

区分 年次	自然動態			社会動態			増 減 合 計
	出 生	死 亡	増 減	転 入	転 出	増 減	
平成 27 年	1, 168	2, 085	△917	4, 737	4, 651	86	△831
28	1, 176	2, 091	△915	4, 747	4, 456	291	△624
29	1, 183	2, 305	△1, 122	4, 873	4, 829	44	△1, 078
30	1, 123	2, 157	△1, 034	4, 523	4, 705	△182	△1, 216
令和元年	1, 031	2, 190	△1, 159	4, 684	5, 013	△329	△1, 488

(資料：市民課)

2 土地利用

地目別面積

(各年 1 月 1 日現在、単位：km²)

区分 年次	総面積	田	畑	宅地	山林	原野	雑種 地	鉱泉地 池 沼 牧 場	公有 地等
平成 27 年	209. 57	52. 38	2. 50	37. 48	22. 55	2. 17	6. 13	0. 04	86. 32
28	209. 57	52. 03	2. 50	37. 58	22. 54	2. 18	6. 36	0. 04	86. 34
29	209. 57	51. 83	2. 50	37. 68	22. 52	2. 18	6. 46	0. 04	86. 36
30	209. 57	51. 61	2. 49	37. 81	22. 52	2. 17	6. 45	0. 04	86. 48
31	209. 57	51. 22	2. 49	37. 98	22. 54	2. 17	6. 46	0. 04	86. 67
令和 2 年	209. 57	51. 04	2. 48	38. 26	22. 45	2. 17	6. 59	0. 04	86. 54

(資料：資産税課)